※令和４年度以降入学生用

学校番号	1009

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	2	2	・FLEX English Communication Ⅱ ・FLEX English Communication Ⅱ 予習・授業ノート

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業の目的は２つある。１年次の英語コミュニケーションⅠに引き続き、１つは生きて働く英語力を身につけることである。具体的には、Listening や Reading といった活動を通して情報や意見などを受け取り、Speaking や Writing などの活動を通して表現することができるようになることである。もう１つは、英語の学習を通して、日常的な話題や社会的な話題について考えることである。SDGs は世界全体での協力なしには成し得ない目標であるが、そのようなことを自分ごととして考えることができるようになるために、英語を通して他者とコミュニケーションする能力を伸長することが肝要である。
以上の目標を達成するために、各 Lesson において教材の特徴を活かしたアウトプット活動を重視し、それに必要なインプット活動を行う。そのために、アクティヴな参加と、主体的な学びが重要である。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	①日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 ②社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。	①日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 ②社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。	①日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 ②社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。	①日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 ②社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。	①日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 ②社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

※令和４年度以降入学生用

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	（評価の観点） 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。 （評価方法） ・小テスト ・定期考査	（評価の観点） コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 （評価方法） ・予習＆授業ノートの Final Task ・パフォーマンス評価 ・定期考査	（評価の観点） 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 （評価方法） ・パフォーマンス評価 ・ポートフォリオ評価 ・リフレクションシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1: Anime Pilgrimages	聞くこと	a: 社会的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 b: アニメの聖地巡礼に関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: アニメの聖地巡礼に関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 社会的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 b: アニメの聖地巡礼に関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: アニメの聖地巡礼に関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと (やり取り)	a: 社会的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。 b: アニメの聖地巡礼に関する英語を聞いたり、読んだりして得た情報を基に、生徒自身が好きなアニメ、映画、音楽、本などの聖地を紹介しあうことができる。 c: アニメの聖地巡礼に関する英語を聞いたり、読んだりして得た情報を基に、生徒自身が好きなアニメ、映画、音楽、本などの聖地を紹介しあおうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		書くこと	a: 社会的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 b: アニメの聖地巡礼に関する英語を聞いたり、読んだりして得た情報を基に、生徒自身が好きなアニメ、映画、音楽、本などの聖地についてのエッセイを書くことができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

			c: アニメの聖地巡礼に関する英語を聞いたり、読んだりして得た情報を基に、生徒自身が好きなアニメ、映画、音楽、本などの聖地についてのエッセイを書こうとすることができる。	
	Lesson 2: Iwaya Keisuke and the Pursuit of Dreams	聞くこと	a: 日常的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 b: 身の回りの物を使って地球撮影用のカメラを作ったイワヤケイスケに関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: 身の回りの物を使って地球撮影用のカメラを作ったイワヤケイスケに関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 日常的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 b: 身の回りの物を使って地球撮影用のカメラを作ったイワヤケイスケに関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: 身の回りの物を使って地球撮影用のカメラを作ったイワヤケイスケに関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a: 日常的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 b: 身の回りの物を使って地球撮影用のカメラを作ったイワヤケイスケについて聞いたり、読んだりして得た情報を基に、ポジティヴな発明品とネガティヴな発明品とを英語で発表することができる。 c: 身の回りの物を使って地球撮影用のカメラを作ったイワヤケイスケについて聞いたり、読んだりして得た情報を基に、ポジティヴな発明品とネガティヴな発明品とを英語で発表しようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		書くこと	a: 日常的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 b: 身の回りの物を使って地球撮影用のカメラを作ったイワヤケイスケについて聞いたり、読んだりして得た情報を基に、ポジティヴな発明品とネガティヴな発明品とを英語でエッセイを書くことができる。 c: 身の回りの物を使って地球撮影用のカメラを作ったイワヤケイスケについて聞いたり、読んだりして得た情報を基に、ポジティヴな発明品とネガティヴな発明品とを英語でエッセイを書こうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	中間考査			
	Lesson 3: The surprising History of Salt	聞くこと	a: 社会的な話題について、「If 節のない仮定法」や「動名詞の意味上の主語」を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 b: 塩の歴史に関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: 塩の歴史に関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 社会的な話題について、「If 節のない仮定法」や「動名詞の意味上の主語」を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 b: 塩の歴史に関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: 塩の歴史に関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a: 社会的な話題について、「If 節のない仮定法」や「動名詞の意味上の主語」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 b: 塩の歴史について聞いたり、読んだりして得た情報を基に、人類史を変えた発明品について英語で発表することができる。 c: 塩の歴史について聞いたり、読んだりして得た情報を基に、人類史を変えた発明品について英語で発表しようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 社会的な話題について、「If 節のない仮定法」や「動名詞の意味上の主語」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 b: 塩の歴史について聞いたり、読んだりして得た情報を基に、人類史を変えた発明品について英語でエッセイを書くことができる。 c: 塩の歴史について聞いたり、読んだりして得た情報を基に、人類史を変えた発明品について英語でエッセイを書こうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	Lesson4: A Future World、with or without Sea Turtles	聞くこと	a: 社会的な話題について、「as ifを用いた仮定法」や「疑問詞 + to do」を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 b: ウミガメに関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: ウミガメに関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 社会的な話題について、「as ifを用いた仮定法」や「疑問詞 + to do」を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 b: ウミガメに関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: ウミガメに関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a: 社会的な話題について、「as ifを用いた仮定法」や「疑問詞 + to do」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 b: 人間のメリットのために狩られる動物について、プレゼンテーションソフトを活用しながら発表することができる。 c: 人間のメリットのために狩られる動物について、プレゼンテーションソフトを活用しながら発表することができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		書くこと	a: 社会的な話題について、「as ifを用いた仮定法」や「疑問詞 + to do」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 b: 人間のメリットのために狩られる動物について、エッセイを書くことができる。 c: 人間のメリットのために狩られる動物について、エッセイを書こうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	期末考査			
2	Lesson 5: The Psychology of Waiting in Line	聞くこと	a: 日常的な話題について、「同格を導く接続詞 that」や「関係副詞の非制限用法」の表現を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる b: 列で待つことについての心理学に関する英語を聞いて、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 c: 列で待つことについての心理学に関する英語を聞いて、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握しようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 日常的な話題について、「同格を導く接続詞 that」や「関係副詞の非制限用法」の表現を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 b: 列で待つことについての心理学に関する英語を読んで、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 c: 列で待つことについての心理学に関する英語を読んで、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握しようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと（やり取り）	a: 日常的な話題について、「同格を導く接続詞 that」や「関係副詞の非制限用法」の表現を含む英語を、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。	a. ワークシート b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

			b: 列で待つことについての心理学に関して聞いたり、読んだりしたことを基に、日常生活で不快に思うこととその解決策について、伝え合うことができる。 c: 列で待つことについての心理学に関して聞いたり、読んだりしたことを基に、日常生活で不快に思うこととその解決策について、伝え合おうとすることができる。	
		書くこと	a: 日常的な話題について、「同格を導く接続詞 that」や「関係副詞の非制限用法」の表現を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 b: 列で待つことについての心理学に関して聞いたり、読んだりしたことを基に、日常生活で不快に思うことと、その解決策を仮想の企業や学校などへの提案として書くことができる。 c: 列で待つことについての心理学に関して聞いたり、読んだりしたことを基に、日常生活で不快に思うことと、その解決策を仮想の企業や学校などへの提案として書こうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	Lesson 6: The Human Library	聞くこと	a: 日常的な話題について、「否定の分詞構文」や「完了形の不定詞」を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 b: 「ヒューマンライブラリー」に関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: ヒューマンライブラリー」に関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 日常的な話題について、「否定の分詞構文」や「完了形の不定詞」の表現を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 b: 「ヒューマンライブラリー」に関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: 「ヒューマンライブラリー」に関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a: 日常的な話題について、「否定の分詞構文」や「完了形の不定詞」の表現を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 b: 「ヒューマンライブラリー」に関する英語を聞いたり、読んだりしたことを基に、普段関わることが少ない経験をした人（ヒューマンライブラリー）について調べたことを発表することができる。 c: 「ヒューマンライブラリー」に関する英語を聞いたり、読んだりしたことを基に、普段関わることが少ない経験をした人（ヒューマンライブラリー）について調べたことを発表しようとすることができる。	a. ワークシート b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		書くこと	a: 日常的な話題について、「否定の分詞構文」や「完了形の不定詞」の表現を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 b: 「ヒューマンライブラリー」に関する英語を聞いたり、読んだりしたことを基に、普段関わることが少ない経験をした人（ヒューマンライブラリー）について調べたことを書くことができる。 c: 「ヒューマンライブラリー」に関する英語を聞いたり、読んだりしたことを基に、普段関わることが少ない経験をした人（ヒューマンライブラリー）について調べたことを書こうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	中間考査			
	Lesson 7: More Than Just Shelters	聞くこと	a: 社会的な話題について、「受け身の不定詞」や「受け身の進行形」を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる b: Ban が紙でシェルターを、作り助けを必要とする人々を助けているということに関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: Ban が紙でシェルターを、作り助けを必要とする人々を助けているということに関する英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 社会的な話題について、「部分否定」「If S were to V; S would V」の表現を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

			b: Ban が紙でシェルターを、作り助けを必要とする人々を助けているということに関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: Ban が紙でシェルターを、作り助けを必要とする人々を助けているということに関する英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	
		話すこと （発表）	a: 社会的な話題について、「部分否定」「If S were to V; S would V」の表現を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 b: Ban が紙でシェルターを、作り助けを必要とする人々を助けているということに関する英語を読んだり、聞いたりしたことを基に、自分たちが身の回りの人を助けるために将来できることについて発表することができる。 c: Ban が紙でシェルターを、作り助けを必要とする人々を助けているということに関する英語を読んだり、聞いたりしたことを基に、自分たちが身の回りの人を助けるために将来できることについて発表しようとすることができる。	a. ワークシート b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		書くこと	a: 社会的な話題について、「部分否定」「If S were to V; S would V」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 b: Ban が紙でシェルターを、作り助けを必要とする人々を助けているということに関する英語を読んだり、聞いたりしたことを基に、自分たちが身の回りの人を助けるために将来できることについて書くことができる。 c: Ban が紙でシェルターを、作り助けを必要とする人々を助けているということに関する英語を読んだり、聞いたりしたことを基に、自分たちが身の回りの人を助けるために将来できることについて書こうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	Lesson 8: Infectious Diseases and Humans	聞くこと	a: 社会的な話題について、「部分否定」「If S were to V; S would V」の表現を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 b: 感染症とワクチンについての英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: 感染症とワクチンについての英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 社会的な話題について、「部分否定」「If S were to V; S would V」の表現を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 b: 感染症とワクチンについての英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: 感染症とワクチンについての英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと （やり取り） ＆ 書くこと	a: 社会的な話題について、「部分否定」「If S were to V; S would V」の表現を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えたり、書いて伝えることができる。 b: 感染症とワクチンについて聞いたり、読んだりしたことを基に、グループで過去の感染症とその傾向について話し合い、ポスターを作成することができる。 c: 感染症とワクチンについて聞いたり、読んだりしたことを基に、グループで過去の感染症とその傾向について話し合い、ポスターを作成しようとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	期末考査			
3	Lesson 9: Fashion for Pride	聞くこと	a: 日常的な話題について、「倒置」「完了形の分詞構文」の表現を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 b: *sapeur* についての英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: *sapeur* についての英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

		読むこと	a: 日常的な話題について、「倒置」「完了形の分詞構文」の表現を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 b: *sapeur* についての英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: *sapeur* についての英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a: 日常的な話題について、「倒置」「完了形の分詞構文」の表現を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 b: *sapeur* について聞いたり、読んだりしたことを基に、自分がはどのような人間でありたいかについて発表することができる。 c: *sapeur* について聞いたり、読んだりしたことを基に、自分がはどのような人間でありたいかについて発表しようとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		書くこと	a: 日常的な話題について、「倒置」「完了形の分詞構文」の表現を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 b: *sapeur* について聞いたり、読んだりしたことを基に、自分がはどのような人間でありたいかについて、書くことができる。 c: *sapeur* について聞いたり、読んだりしたことを基に、自分がはどのような人間でありたいかについて、書こうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	Lesson 10: Larry Page and the Dream of Google	聞くこと	a: 日常的な話題について、「複合関係代名詞」「二重否定」を含む英語を、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 b: Larry Page のミシガン大学でのスピーチについての英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: Larry Page のミシガン大学でのスピーチについての英語を聞いて、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		読むこと	a: 日常的な話題について、「複合関係代名詞」「二重否定」を含む英語を、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 b: Larry Page のミシガン大学でのスピーチについての英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 c: Larry Page のミシガン大学でのスピーチについての英語を読んで、概要や要点を整理しながら的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとすることができる。	a. ワークシート・定期考査 b. 予習＆授業ノート c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		話すこと（やり取り）	a: 日常的な話題について、「複合関係代名詞」「二重否定」を含む英語を、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 b: Larry Page のミシガン大学でのスピーチについて聞いたり、読んだりしたことを基に、自分が夢中になって追いかけたい夢について伝え合うことができる。 c: Larry Page のミシガン大学でのスピーチについて聞いたり、読んだりしたことを基に、自分が夢中になって追いかけたい夢について伝え合おうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. 予習＆授業ノート c. c. リフレクションシート・ポートフォリオ
		書くこと	a: 日常的な話題について、「複合関係代名詞」「二重否定」を含む英語を、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 b: Larry Page のミシガン大学でのスピーチについて聞いたり、読んだりしたことを基に、自分が夢中になって追いかけたい夢について書くことができる。 c: Larry Page のミシガン大学でのスピーチについて聞いたり、読んだりしたことを基に、自分が夢中になって追いかけたい夢について書こうとすることができる。	a. 予習＆授業ノート b. ルーブリック c. c. リフレクションシート・ポートフォリオ
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度